

# “明日の健康を応援”するお弁当を医療従事者に寄贈

2021年4月発売予定『明日の食卓』弁当を5,000食寄付。

広島駅弁当株式会社

2021年2月3日

弁当・惣菜等製造ならびに販売事業を行う広島駅弁当株式会社（本社：広島県広島市東区矢賀5-1-2、代表取締役社長：中島 和雄）は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い逼迫する医療最前線において治療や感染予防に献身的に取り組まれている医療従事者の皆様に、誰もが心から感謝と敬意を表していることをお伝えする取り組みとして、医療従事者の皆様に明日の健康を応援する『明日の食卓』弁当（2021年4月発売予定）を2021年2月8日（月）から5,000食寄贈いたします。

寝る間も惜しんで感染予防や診療などの業務にあたっている医療従事者の方々からは「満足に食事を取れていない」「栄養バランスを考慮した食事が取れていない」などの声もあがっており、この状況が続くと医療提供体制の継続が危惧されます。このような背景も踏まえ、食生活を整え、明日の健康を応援する『明日の食卓』のお弁当で医療従事者の皆様を支援し、危機的状況にある医療体制の継続の一助になればと考えております。

## ■寄贈概要

寄贈商品：「明日の食卓」 企業向け弁当

寄贈食数：5,000食

寄贈先：広島市内医療施設 6施設(予定)

## ■寄贈商品『明日の食卓』概要

人生100年時代を見据え、いかに健康寿命を延ばし豊かに暮らせるのかの鍵を握るのが「フレイル予防改善」「生活習慣病の予防・改善」です。健康長寿社会の実現という理念のもと、広島大学の「未病・予防医科学共創研究所」との産学連携により、医科学的、栄養学的なアプローチから「フレイル予防・改善」「生活習慣病の予防・改善」を実現し、豊かで輝いている人生を送るための基盤である「明日の健康」につながる企業向け配食・在宅高齢者向け配食・高齢者施設向けキット食提供事業を担う『明日の食卓』ブランドを2021年4月に立ち上げます。

\*また2月8日より今回提供する商品と同一の商品を一般にも販売予定価格550円(税込)のところを**特別価格(500円/税込)にて先行販売**いたします。商品内容詳細・注文方法その他配送条件などはお問い合わせ下さい。

《中国新聞掲載記事》

2021年2月3日付 中国新聞(朝刊)で紹介いただきました。



**4 医療機関に  
健康弁当500食**  
広島駅弁当、寄贈へ

広島駅弁当(広島市東区)は8日から、新型コロナウイルスの患者を受け入れている県立広島病院(南区)など4医療機関に、健康に配慮した弁当計5千食を寄贈する。医師や看護師に食べてもらい、繁忙を極める

医療現場を支援する。届けるのは広島大未病・予防医科学共創研究所(南区)と共同で開発した新ブランド「明日の食卓」シリーズの弁当。「ハニーマスタードチキン」や「豚肉のレモン塩たれ炒め」など14種類あり、いずれも1食当たり食物繊維が7g以上、植物乳酸菌G-15株を含む。腸内環境を整える効果などが見込めるといふ。

今後、医療機関からスタッフ数を確認し、合計5千食に達するまで8日から毎日届ける。

この弁当は4月から550円で一般販売する。2月8日から3月末までお試し価格の500円で売る。広島市内を対象に配送のみで受け付ける。送料は1回500円で、計3千円以上の注文だと無料。同社082(2806)0181。

県立広島病院などに届けるハニーマスタードチキン弁当

※一部掲載内容に誤りがあり、県立広島病院様他2施設にはお弁当ではなく栄養補助食品などを寄贈する予定となっております。